



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.170 2011.7.7

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に



「地域活性化」「駅の利便性向上」 JR側、根拠示せず



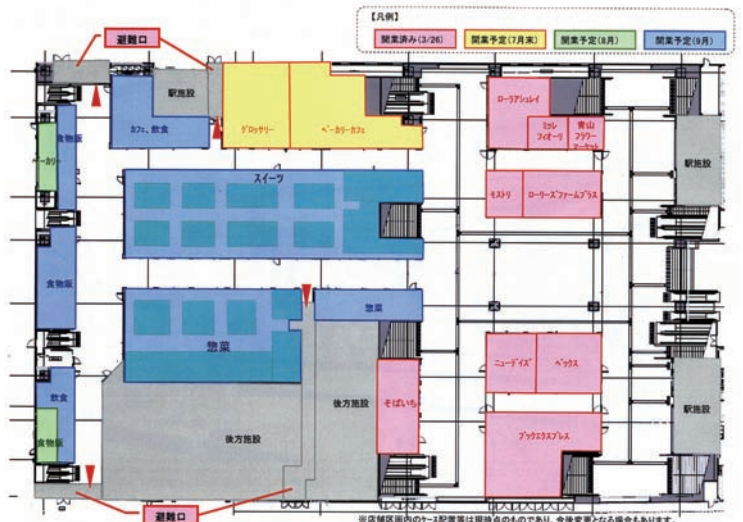
JRによる赤羽駅改修計画の説明 =4日、赤羽会館

初めての近隣住民むけ説明 疑問・不安の声あいつぐ

赤羽駅東西の商店街連合会と赤羽駅東口地区まちづくり協議会は4日、赤羽会館小ホールでJR赤羽駅リニューアル計画に関する関係者会議を開きました。JR東日本が、利用者や商店主らに対して初めておこなう公式な説明会ということで、たくさんの方が参加者がつめかけました。

ところが、JR側の説明はわずか10分程度。内容も、これまでプレスリリースされたことを繰り返すにとどまりました。

参加者からは「エキナカ商店街開発で地域活性化をはかるといって、周辺商店街の売り上げが下がらないという根拠はあるのか。周辺業者との競争を避けるとしたJR法10条に抵触しているのではないか」「利便性向上と云っているが、通路が極端に狭くなり、ラッシュ時や災害時には混乱を招くのではないか」などの質問が出されましたが、JR側は明確な根拠を示さず、「計画当初から北区や商店街連合会とご相談させていたでいている」などと苦し紛れの



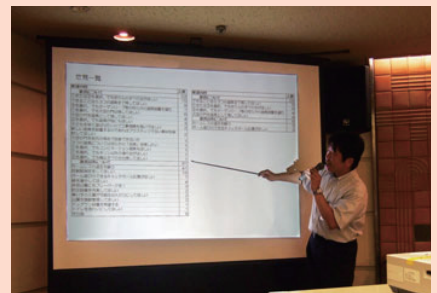
答弁に終始しました。ある参加者は「東日本大震災で駅の公共性や安全性が問題になっているのに、利益だけを追求する今回の計画は白紙撤回すべき」と求めました。JRはこうした声を真摯に受け止め、再度納得のゆく説明をおこなうべきです。

※説明会当日にJR東日本が配付した資料より。ピンクの部分は開業済み（第1期）、黄色は7月末、黄緑は8月、青は9月に開業予定（第II期）で、総店舗数は55店になる予定。

住民合意で、改修案検討へ

北区は1日、赤羽会館小ホールで第2回赤羽公園遊具説明会を開催しました。

冒頭、この間実施された赤羽公園遊具アンケートの集計結果についての報告があり、これを受けての参加者からの発言では、「アンケートを寄せてくれた人にきちんと説明会の案内がされていないのは問題」「遊具問題だけでなく、赤羽公園全体の改修を考えたほしい」「アンケートの3つの選択肢だけでは利用者の気持ちにくみとれない」「『大空の門』については歴史的・文化的価値について勉強会を開いてほしい」な



説明する区の担当職員

ど、さまざまな意見が飛び交いました。

説明会の

継続を約束

討論をうけて区の道路公園課長は「早期に仮囲いをはじめ、子どもたちが遊べるよう改修案をまとめたい」と発言。利用者の声をさらに集約するため、再度説明会を開くことを約束しました。

区政動かす党区議団

のの山

区議 区政報告のついでに議会報告

6月30日、赤羽会館小ホールで、日本共産党志茂・赤羽後援会主催の「区政報告のついで」が開かれ、33人が参加しました。

最初に、のの山けん区議が、スライドを使いながら、終了したばかりの北区議会第2回定例会について報告。日本共産党区議団

の4次にわたる区長への要請や、議会での論戦をつうじて、住宅リフォーム助成制度や家具転倒防止器具の無料取り付け事業が大きく拡充されたことが紹介されました。

また、のの山区議は子どもをもつ親などが

らの不安にこたえて、北区に区内の放射線量測定を開始させたことを報告。原発からの撤退と自然エネルギーへの転換を議会でも求めたのは、日本共産党だけだったとのべました。

続いて、そねはじめ前都議が原発問題や石巻市への震災ボランティア

ティア活動について報告。参加者からは、国保料の値上げ、JR赤羽駅改修、赤羽公園の遊具などの問題について、活発に質問が寄せられました。



区政報告をする、のの山けん区議



原発からの撤退を

7月2日、明治公園で開かれた緊急行動。2万人の参加者とともに「原発ノー」の声をあげました。
【写真】集会であいさつする日本共産党の志位和夫委員長